

誇るべき「和」の心をとどけよう!

～己を磨き 他者を信じ 公に貢献する～ 熱い情熱をもって!

同 風

機関紙命名 鵬雲齋大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人 長正
ブロック長 中谷憲正

ご挨拶

ブロック長
中谷 憲正



平成から令和へと新たな時代を迎える中、今期近畿第二ブロック長をさせていただきます。青年部の中谷憲正です。

平素は大宗匠様、御家元様をはじめ、御宗家、総本部の皆様、近畿第二地区の親支部の先生、諸先輩方にはブロック諸活動に際し、ご指導ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、各青年部の皆様にはご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今期のブロックテーマは『誇るべき「和」の心をとどけよう』『己を磨き他者を信じ 公に貢献する』『熱い情熱をもって』とさせていただきます。今一度人と人とお互いを尊重することにより生ま



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

れる「和」を大切にし、変わることにない素晴らしい日本の価値観を呼び覚まし、近畿第二ブロックを基点とし「和」の心を日本中へ広げ、さらに次代へと繋げていける活動を展開していきたいという想いから、このテーマとさせていただきます。

令和元年度は、七月六日〜七日に国の重要文化財であります日本綿業倶楽部において、ブロック研修会を開催し、百十余名を超える七青年部の皆様とブロック間交流として他ブロックの方々にご参加いただきました。実践を目指した大変内容の濃い研修となりました。九月十六日には、本年度第九回目となるチャリティ茶会を開催いたしました。五百名を超す皆様にお越しいただき、本年もOBの先輩方、そして第十九期、二十期の全国委員会の先輩方にご協力を賜りました。東北や九州、そして西日本豪雨で被害を受けた皆様へ思いを寄せる一日となりました。そして、この十月には台風十九号という激甚災害

に東日本が見舞われました。被災された皆様が一日も早く元の生活に戻れますよう、心から願っております。また、十二月には交流委員会を中心となり、ブロック出向者を対象とした交流事業を開催する予定です。来年に向け、出向者全員が一致団結できる事業になるよう準備を進めています。令和二年度はチャリティ茶会や次期役員予定者を対象とした研修会を予定しております。ブロックの諸活動についてはホームページ、フェイスブックでも報告しております。よろしければ是非一度ご覧ください。親先生の皆様へは、改めてまして青年部へのご理解とご協力に感謝申し上げます。どうか青年部活性のために、新入会員のご紹介をいただきたく今一度お願い申し上げます。

平成三十一年度 ブロック協議会

平成三十一年度ブロック協議会をホテルモントレグラスミア大阪にて開催いたしました。親支部からはご来賓として顧問の淡交会参事 近畿第二地区副地区長 大阪北支部副支部長 池田周弘様をはじめ各支部幹事長先生、相談役の皆様方にご臨席いただきました。



茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック
平成31年度ブロック協議会

最後にになりましたが、皆様の益々のご健勝を祈念しますとともに、引き続き近畿第二ブロックへのご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

お忙しい中ご臨席賜りましたご来賓の皆様、新旧ブロック役員・ブロック委員・出向者の皆様ありがとうございました。

平成三十一年度 連絡会会議

平成三十一年度第一回連絡会会議をホテルモントレグラスミア大阪にて開催いたしました。ご出席いただきました皆様ありがとうございました。



令和2年度 ブロック行事予定

- 2月11日 ブロック協議会
- 5月22日～24日 淡交会青年部 第16回全国大会
- 8月30日 第10回チャリティ茶会
- 11月23日 次期役員予定者研修会
- 12月1日 同風発行

令和元年度 近畿第二ブロック研修会

令和元年七月六日(土)・七日(日)
於・日本綿業倶楽部(綿業会館)

呈茶・開会式・総本部報告

令和元年度 近畿第二ブロック研修会を大阪 船場にある日本綿業倶楽部にて開催いたしました。今年度の研修会では、国の重要文化財であり、近代化産業遺産に認定されている綿業会館を特別に見学させていただきました。受付後のお呈茶は、大阪東青年部の会員が担当されました。開会式では、中谷ブロック長の挨拶、顧問の淡交会参事近畿第二地区副地区長 大阪北支部副支部長の池田周弘様からお言葉を頂戴し、二日間の研修会がスタートしました。総本部報告では、淡交会総本部事務局次長兼組織部部長の松尾拓二様からお話しを頂戴しました。



全体研修「灰形」について

大阪東支部参与 名誉師範の中尾宗勢先生に「灰形」について教えていただきました。風炉や灰形の歴史などについてご紹介いただいた後、先生が灰形を作る様子を拝見いたしました。その後、グループに分かれて灰形を作りました。



先生から各手順のコツを教えてくださいましたが、なかなか思うようにできず、繰り返し練習が必要であると実感した次第です。炭は湯の沸くように準備しなくてはなりません。そして灰形もおもてなしの一つ。身につけるべきことは多々ありますが、これからの楽

しく様々なことを学んできたいと思います。

南紀青年部 井本 ゆか



全体研修「茶花」について

「灰形」に続いて、中尾宗勢先生に「茶花」のご講義も行っていただきました。茶花を八種類の花入に次々と入れていただきました。花の足元が見えないように花入の口を利用して花を入れる、花は旬に先駆けて使うのが良い、終わりかけの花は良くないなど細かく教えていただきました。

中尾先生が使われている魔法の粉も教えていただきました。



懇親会

一日目の夜に懇親会が行われました。二日目に実技指導をしていただく今日庵業師の松井宗豊先生のご挨拶、ブロック相談役 近畿第二地区委員長 西川宗進先生の乾杯のご発声で和やかに始まりました。



大阪北青年部の横川さんから三月に行われましたアメリカ カリフォルニア州 グレーンデール市の桜まつり、また、今期LT出向者による報告がありました。



今年度は二次会が北浜にあるGARAGE2にて行われました。中谷ブロック長からのサプライズでショーのプレゼントもあり更に盛り上がりしました。
大阪東青年部 内田 直美

実技指導

今日庵業師 松井宗豊先生に、実技指導をしていただきました。

実技指導では立礼棚を用いる場合の立礼棚と傘の配置、半東と正客の位置関係など、その場に合った設えをする事や、お客として伺った際に扇子をどうするかなどを指導いただきました。割稽古では、袱紗捌きや棗茶杓の清め方などについてご指導いただき、基本の大切さを改めて感じました。

今回の研修会で学んだことを、今後のお稽古や青年部活動に活かしていきたいです。

和歌山青年部 濱田 潮美



全国委員助言・閉会式

全国委員会副委員長の小市真由美様より、青年部を通じて年代の離れた人との出会い、話すことが楽しみで辞めずに長年続けてこられたお話しや私達には笑顔で青年部活動を続けて欲しいとのご助言をいただきました。閉会式では、淡交会総本部事務局次長兼組織部部長 松尾拓二様より、社中でも経験出来ないことを学べるのが青年部研修会の良さとお言葉をいただきました。



中谷ブロック長からは青年部綱領の内容をなおざりにせず振り返って欲しい、そして親先生に青年部活動の良さを伝えて欲しいと熱意溢れるご挨拶をいただきました。先生方の美しい手捌きやお道具を拝見することが出来、皆様と一緒に感動を分かち合えた有意義な研修会でした。
大阪西青年部 横田 陽子

第九回 チャリティ茶会

〜とどけ！祈りの風を〜

令和元年九月十六日(月・祝)
於・生國魂神社内 玉秀庵・参集殿

第九回 チャリティ茶会に想う

池田 周弘

東日本大震災が起きた年の二十三期全国委員会(高祖宗奈委員長)の皆さんが私たちのチャリティ茶会に参加していただけて以来続いている青年部全国委員会OBの方々と近畿第二ブロックOBとの濃茶席に、今年は今新会代表幹事の原昌三氏(十九期委員長)、淡交会監事・大阪南支部長の廣田元孝氏(十九期議長)、淡交会参事・川崎支部長の加藤哲郎氏(十九期総括幹事)、淡交会参事補の辻宗治氏(二十期議長)をはじめ各地淡交会の中心として活躍されている十九期・二十期の二十名の皆様に駆けつけていただきました。

今年で五回目となる青年部全国委員会OBの方々の参加により、茶道で学んだ他者を思う心の実践が、私たちのチャリティ茶会から全国に拡大していることを誇りに思っています。
東日本大震災以降毎年



ように自然の猛威が日本列島を襲い、今年も数度の台風により甚大な被害がもたされました。私たちがチャリティ茶会を続ける意義の大きさと、一日も早い被災地の復興と日々の平安を心から願っております。
毎年全面的な協力をいただいている近畿第二地区、青年部OB、ブロック青年部の諸君、ご来会いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

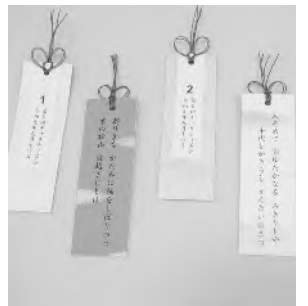
「とどけよう『和』の心」をテーマとした第九回チャリティ茶会に、五〇〇名を超える大勢の方々にご参加いただきました。被災地には、現在も復興の支援が必要な地域や人々がおります。そのため、今後とも風化されないように、来賓のお客様には、被災地に因んだ和歌を葉にした番号札としてお持ち帰りいただきました。来賓待合では、ブロック長の筆による「和」の一字の色紙、一般待合には、過去八年分の写真を円状に並べて、テーマの「和」を連想していただけるように工夫した展示をしました。



お預かりしたお志の一部は、昨年、西日本豪雨で被害を受けた笠岡支部にお渡ししました。



薄茶席は青年部が担当いたしました。九月の開催ということもあり、月にかかる雲を風がはらうかのような清らかな心持ちで被災地に想いを寄せ、そのような思いも込め、お客様をお迎えさせていただきました。



第九回チャリティ茶会 〜とどけ！祈りの風を〜 —— 会 記 ——	
菓子席 淡々斎筆 月雁繪賛 拂清風	濃茶席 淡々斎筆 松風有清音
花入 季のもの 鵬雲斎大匠匠箱	花入 季のもの 鵬雲斎大匠匠箱
香合 独楽 坐忘斎御家元箱	香合 坐忘斎御家元箱
風炉先 淡々斎好同判 遠山 十三代 宗哲造	風炉先 淡々斎好同判 遠山 好斎造
釜 雲龍 小 興斎造	釜 雲龍 小 興斎造
風炉 淡々斎好 円意柳 海仙箱	風炉 淡々斎好 円意柳 海仙箱
棚 孔雀袖 鵬雲斎大匠匠箱	棚 孔雀袖 鵬雲斎大匠匠箱
水指 肥後焼 銘 独坐 鵬雲斎大匠匠箱	水指 肥後焼 銘 独坐 鵬雲斎大匠匠箱
茶入 七つ目入 変格子 博山造	茶入 七つ目入 変格子 博山造
仕覆 生國魂詩絵 平泉	仕覆 生國魂詩絵 平泉
茶杓 坐忘斎御家元作 銘 長久	茶杓 坐忘斎御家元作 銘 長久
茶碗 赤 銘 汪洋 坐忘斎御家元箱	茶碗 赤 銘 汪洋 坐忘斎御家元箱
蓋置 青交趾 菊紋 淡々斎箱 弘入造	蓋置 青交趾 菊紋 淡々斎箱 弘入造
建水 鵬雲斎大匠匠好 唐銅 平韻 即全造	建水 鵬雲斎大匠匠好 唐銅 平韻 即全造
菓子 みのり 吉祥の昔 吉川天來洞	菓子 みのり 吉祥の昔 吉川天來洞
器 縁高 行松旭松製	器 縁高 行松旭松製
床 茶席 清風生八極	床 茶席 清風生八極
花入 季のもの 知久造	花入 季のもの 知久造
香合 檜扇 和道造	香合 檜扇 和道造
棚 御音 和道造	棚 御音 和道造
水指 竹 手箱 阿山造	水指 竹 手箱 阿山造
薄器 秋草大泉 鵬雲斎大匠匠在判箱 光道造	薄器 秋草大泉 鵬雲斎大匠匠在判箱 光道造
茶杓 坐忘斎御家元作 銘 松聲	茶杓 坐忘斎御家元作 銘 松聲
茶碗 絵唐津 坐忘斎御家元箱	茶碗 絵唐津 坐忘斎御家元箱
替 菊の絵 五代威六造	替 菊の絵 五代威六造
替 萩 淡々斎茶碗 葵宮造	替 萩 淡々斎茶碗 葵宮造
蓋置 兔 眞龍造 春造	蓋置 兔 眞龍造 春造
建水 ソボツボ絵 博山造	建水 ソボツボ絵 博山造
菓子 源氏香 老松製	菓子 源氏香 老松製
器 玉椿五角盆 好斎造	器 玉椿五角盆 好斎造
炭盆 香秋問透曲手付 秀斎造	炭盆 香秋問透曲手付 秀斎造
火入 染付山水一閑人 昭阿弥造	火入 染付山水一閑人 昭阿弥造
於 令和元年九月十六日	
茶道裏千家淡交会青年部	
近畿第二ブロック	

カタログを
ご請求ください

式亭専用
TEL 0120-351-088
(月~金 10時~16時)

FAX 0120-889-475
(24時間受付)

株式会社 ミリエーム
〒602-0006
京都市上京区小川通寺之内上
TEL 075-451-5111 (代表)

夏は涼しく、
冬はあたたかに

式亭が装いも新たに
贈る心をお届けします

SHIKITEI

■カタログ進呈■地方発送承ります。
<http://www.shunsho.co.jp/>

創業四百五拾年
石井茶の庄

上林春松本店
京都府宇治市宇治
TEL 0120-351-088
FAX 0120-351-494

販売店 直営小売店 宇治錦町上林記念館
京都府高島郡 堀池下 錦茶光場
京都府伊勢丹地下 錦茶光場
東京都伊勢丹本館地下 錦茶光場
埼玉県浦和 伊勢丹地下 錦茶光場
埼玉県浦和 伊勢丹地下 錦茶光場
埼玉県浦和 伊勢丹地下 錦茶光場

坐忘斎宗匠御好
お濃茶 赤加履の者
お薄茶 五雲の白
お濃茶 美明の者
お薄茶 好方白



題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
茶道裏千家淡交会
大阪四青年部連合会
発行人
会長 北野 嘉一

ご挨拶

大阪四青年部連合会
会長 北野 嘉一



大阪四青年部の部長はじめとする役員の皆様には、多数の出向者を四青年部連合会に輩出して頂き心より感謝申し上げます。
昨年、私たちの主的な活動である茶道教養講座が五〇〇回を迎えました。
本講座は総本部のご尽力を賜わり、茶道にまつわる有識者の先生にお越し頂いております。本年も茶道だけに留まらず聴講者の皆様には後世に伝えるべき古き良き日本の伝統文化に触れて頂けたかと思えます。
昨年に大きな節目を終え

暗申模索で本年度を迎えましたが。われわれ世代に何ができるのか？何を皆様にお伝えすべきなのか？私自身がこの間に対する答えを探す一年であったと思います。出向して頂いているメンバーの勇姿を毎回拝見させて頂き、やっと今あるべき四青年部連合会の使命を見出すことが出来ました。われわれの使命は誇るべき日本の伝統文化を次世代に繋げていくことでもあります。
われわれ世代が新たな架け橋となつて先人の想いを伝えていかなければなりません。四青年部連合会が基軸となり日本の伝統文化の良さを広めて参りましょう。
最後になりますが、四青年部連合会の活動にご尽力を賜っております大阪四支部連合会大林会長をはじめ役員の皆様、親先生の皆様と共に、来年度も本年同様のご支援ご愛顧をお願い申し上げます。

「路地」のしつらえ

庭師 植熊 小河 正行 先生
五月十五日

路地の目的、基本的に守らなくてはならない事を一年間のメンテナンスを通じて丁寧に解説して頂きました。

茶庭は「路地」とも言い、「浮世の外の道」とも言われ心の塵を払い去る動線で、茶室一体化し茶の湯の空間を形成し、普通の庭と違い「四季がない」同じ景色を保ち、お迎えするお客様の邪魔にならないように「教の石」である飛び石も目立たずに配置し、茶室まで誘

「所作について」

京舞井上流 家元 井上 八千代 先生
六月十二日

井上流の歴史と京舞の受け継がれて来た伝統について詳しくご説明頂き、井上流は上方舞、能、人形浄瑠璃の人形振りなどの影響を受けて創設されて以来、激動の歴史下でも厳しい稽古を重ね伝統を守り続け、代々女性によって受け継がれ、静かな中に力強さを感じ



「利休好みと利休形」

今日庵 業林 富士田 宗啓 先生
十月十七日

導して行く重要な役割を担い、路地を維持する為の手入れ方法も毎月違い、貴重な資料をお持ち頂きました。今まで何気なく通ってきた路地がこの講演を機に茶会が楽しみになると聴講者がおっしゃっていました。



「静の舞」が特徴とご解説頂きました。
井上先生は大変小柄でもあるのにも関わらず凛とした佇まいで所作の美しさにお客様の目も奪われ、華麗な身振り手振りを真似されていきました。

「利休好みと利休形」

茶道では基本となる「利休好み」と「利休形」について貴重な展示資料と映像資料をお見せ頂きながらお話いただきました。
利休形とは利休の作になるもの、利休が所持し愛用したもの、利休の好み形からなるものを大変分かりやすく、名物の見方や違いをご解説頂きお客様は熱心にメモを取られる姿が多数いらっしゃいました。



その他の行事

三月十七日
米国カリフォルニア州
グレンデール市主催
第二回桜まつり

六月二日
勝尾寺 献茶式
拝服席担当

茶道具商 西田龍善堂

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-22 TEL 090-4032-1077

茶舗
鵬雲斎 大宗匠御好
濃茶 吉祥の昔
薄茶 松吟の白
吉川天宸洞

〒541-0061
大阪市中央区上本町西1-14-13
TEL (06) 676-2413

**大阪東支部幹事長
小林 宗美 先生**

令和元年の梅雨明けは、殊の外遅くお天気を心配しながらの天神祭でしたが、当日は心配をよそに晴天に恵まれて御献茶船は無事に出発致しました。

夕方とはいえまだまだ日も高く強い日差しでしたが時より吹く川風に「ホッ」としながら御神霊を乗せた御鳳輦船を待ちました。

船上では一同厳肅な気持ちを一つにして見守る中、青年部によるお献茶式が始まりました。



**天神祭
献茶船**

担当 大阪東青年部
七月二十五日



今回ご乗船頂いた御来賓の皆様、この日の為に数々尽力下さった青年部の皆様に心より感謝申し上げます。

暫くして御鳳輦船が近づきますと御献茶船も寄り添い並走し高坏に梅型に盛りだお菓子と心を込めたお茶を献納致しました。

その後は頭上に広がる鮮やかな大輪の花火のもと洋服を頂き、花外楼のお弁当を頂きながら会話も弾み行き交うたぐさんの船と「大阪締め」も交わされて日本三大祭のひとつである天神祭の船渡御を堪能致しました。

2020年度（令和2年）茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
512	2月3日 (月)	茶懐石について	瓢亭 14代目当主 高橋 英一 先生
513	3月9日 (月)	一休禅師が伝えた 禅茶のこころ	建仁寺塔頭靈源院 住職 雲林院 宗碩 先生
514	4月27日 (月)	写し、色絵、そして截金	琴浦窯 4代目 和田 桐山 先生
515	5月	能勢菊炭 500年の歴史	能勢さとやま創造館代表 炭焼き師 小谷 義隆 先生
516	6月	未定	今日庵 業 躰 先生
517	7月	日本の庭園 ～小さな島国の造形芸術から 世界的な庭園様式へ～	中根庭園研究所取締役 造園家 中根 行宏 先生
518	9月	特別展覧 茶室見学	京都造形芸術大学大学院 客員教授 中村 利則 先生
519	10月	千家の歴史	裏千家学園講師 谷端 昭夫 先生
520	11月	Do You Know 能?	山本能楽堂代表理事 能楽師 山本 章弘 先生

(註) 第518回 特別展覧は別途料金が必要です。(申込は会員様限定)

要 項

日時 毎回講師の都合により決定し、午後7時より8時30分迄とする。

会場 大阪市内の公共施設

会費 年会費 大阪四青年部会員 4,000円 一般会員 6,000円
臨時聴講(1回につき)青年部会員 1,000円 一般会員 2,000円



**特別展覧
菅細工作成
体験**

深江菅細工保存会
八月三十一日

約二千年前深江地区に自生する菅を使って笠などを作ったのが始まりという伝統工芸「菅細工」主な製品に茶道にはなくてはならない釜敷きや円座などがあり、菅細工保存会の皆様のご指導のもと菅を使いコースター作成体験を致しました。

作成体験後には深江郷土資料館へ移動し、人間国宝角谷一圭の数々の作品や実際に使用された菅笠を拝見させて頂き、深江の歴史や茶道具についてもガイドいただきました。



**お茶十菱
茶道具**

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/jubishi/>

〒578-0983 東大阪市吉田下島15番27号
TEL 072-966-2119 FAX 072-966-9808

**新古茶道具
梅園松籟居**

〒569-0085 高槻市南松原町五十一
電話 (072) 675-0941
FAX (072) 672-9618

今期のテーマ
**「一碗からはじまる笑顔を大切に
 ～その笑顔こそが次代へと繋がる～」**



題字は鵬雲斎大宗匠筆
 発行所
 淡交会 大阪東支部
 大阪東青年部
 発行人
 部長 中谷 誠

ご挨拶
 部長 中谷 誠

今期、大阪東青年部の部長を務めております中谷誠でございます。一年間の活動報告を無事にさせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。歴代の部長が築かれてきた様々な繋がりを大切に、また会員同士の親睦をさらに深めることや新入会員の拡大を考え、上記のテーマを掲げ活動してまいりました。今年が青年部として様々な学びの機会をいただきました。また、ブロック研修会などへ参加することで、さらなるステップアップのきっかけになる一年になったと思います。最後にありますが、来年度も青年部らしく「笑顔」を大切に活動してまいります。



点心中席では組紐で作った亥の置物や猪目の箸置き等、可愛さを取り入れました。



新春茶会
 二月二十四日(日)
 生國魂神社内 玉秀庵

茶席では続き薄茶のお点前でお客様をおもてなしいたしました。



千敬史さま御奉仕による献茶式が執り行われ、青年部は副席を担当させていただきました。

住吉大社 献茶式
 (副席担当)
 九月十日(火)
 住吉大社



天神祭 献茶船
 七月二十五日(木)
 大川

令和初の天神祭献茶船の大役を無事に果たすことができました。



山本甚次郎商店でお呈茶と宇治茶の栽培や歴史についてのお話を伺いました。



委員会行事
 「油滴天目茶碗を作る」土に親しみ
 茶碗の中に
 宇宙を創る」
 十月六日(日)
 朝日焼作陶館
 山本甚次郎商店

宇治の朝日窯で天目茶碗の作陶体験を行いました。

- ご卒業 おめでとう ございます**
- 岡川 紋子さん
 - 河島 玄子さん
 - 黒田 孝枝さん
 - 黒田 朋子さん
 - 竹内 恵子さん
 - 寺島 由起さん
 - 八文字 真由美さん
 - 東野 佳奈さん
 - 松井 美加さん
 - 丸宮 智幸さん
- これまで青年部の活動にご尽力いただき、本当にありがとうございました

その他の行事

全体会議
 一月二十六日(土)
 大阪キャッスルホテル
 錦城閣

合同総会
 十二月一日(日)
 リーガロイヤルホテル



令和元年・三年度テーマ

一碗からはじまる出会いを大切に! ～自己を磨き、他者を敬い、喜びを共に!～



ご挨拶
部長 大野 育生



題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪西支部
大阪西青年部
発行人 育生
部長 大野 育生

今期、大阪西青年部の部長を仰せつかっております大野育生と申します。我々は、茶道を通じて、他者と関わる一瞬一瞬を大切にしたいと考え、「一碗からはじまる出逢いを大切に!」というスローガンを掲げ、事業に取り組んでいます。事業に参加頂く方々との出逢いがあり、我々が考えた設えが喜んでいただけるもののかを学ばせていただくことができます。また、共に事業を形作るために取り組む仲間との出逢いにより、考えの多様性を学びます。これらの一つ一つが我々の成長、友情を育んでいくと考えています。これからも事業が続きますが、その場での出逢いを大切にする設えに拘り、大阪西青年部一同、研鑽を積んで参ります。どうか、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新春茶会

「CHA・チャ・茶」

大阪城豊国神社にて、冬から春へ季節の節目の意味合いを持つテーマ「光の春」に添って、濃茶席では「光」、薄茶席では「春」、点心席では「節分」をテーマに各席趣向を凝らし、お客様をお迎えいたしました。



花見茶会

豊国神社秀石庭にて、花見茶会を開催いたしました。今年は大変寒く、花びら舞う中、インカムや多言語のフリップを用いて説明をし、皆様に楽しんでいただけるよう努めました。



会員交流会

粟田焼の安田浩人先生のご指導のもと、お茶碗の絵付け体験をしました。粟田焼の歴史をご説明いただいた後、スタンブなども用いた鉄と呉須で絵付けしました。



国際交流茶会

大阪国際交流センターにて、留学生に着物を着付けてのお茶席体験やお抹茶点て、折り紙、けん玉、将棋などの日本の伝統文化を体験していただきました。



体験後は、先生の作品で一服いただき、昼食会で親睦を深めました。



令和元年度行事報告

ご卒業
おめでとございます。
川原美恵子様
長きにわたり青年部活動にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

一月二十七日

第一回例会・懇親会

難波市民学習センター

二月三日

新春茶会

豊国神社

三月三十一日

花見茶会

豊国神社秀石庭

四月五日

水無瀬神宮献茶式(副席)

六月十六日

会員交流会

粟田焼窯元 鍵屋安田

八月十七日

納涼例会

中之島ラブセントラル

十月十六日

成田山献茶式(副席)

十一月十日

国際交流茶会

大阪国際交流センター

十二月八日

総会・卒業茶会

芝苑



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部

大阪南青年部

大阪府三島郡島本町広瀬 1-6-17
大阪南青年部

テーマ

「和」

人と歴史のつながり

ご挨拶

部長 山本 修史



本年度、大阪南青年部部長を務めさせていただいております山本修史でございます。平素は南青年部の諸活動にご高配を賜り心より感謝申し上げます。本年度は「和」を人と歴史のつながりとしてテーマに青年部活動を推進しております。和とは日本そのものを表す言葉であり、和菓子、和食、和服など日本の文化を表す語。今や日本の文化は

世界中に広く認知され高く評価されております。また、日本には春夏秋冬を告げる旬の様々な「もの・こと」があり、調和や礼節を重んじる和の精神が茶道の精神そのものと思われ諸活動に励んでおります。中谷ブロック長をはじめとする近畿第二ブロック役員の皆様、また、北野会長をはじめとする四支部連合会役員の皆様には、当青年部より出向させていただいているメンバーが大変お世話になっておることに、この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。残り一年の任期において、これまで通りのご高配並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。卒宜しくお願ひ申し上げます。

大寄せ茶会 「春日の茶会」

三月三十日(日)
於：生國魂神社

「春日」のテーマに沿って、竹の干菓子器や待合いの飾り、主菓子「佐保姫」、切り絵の風炉先、点て出し茶碗を持ち寄り準備しました。親しみやすい趣向で、初心者ながらもお道具の名前や由来を覚え、道具合わせが面白いと感じました。当日は、待合・本席・点心席でよく連携が取れ、とても動きやすかったです。本席は、十一人で役割分担して進行しました。全体で九席、二百名弱のお客様を迎えることができました。点前では、稽古場とは違う場所でお客様を迎える緊張から、失敗もありましたが、正客様からの優しいお声かけで助けていただきました。テーマを感じながら実際にお道具に触れ、点前をする貴重な経験になりました。先輩の姿をお手本に、茶会の構想や、お道具の準備、片付けをしました。水屋での動きなどを学び、これからは青年部活動に参加していきたいと思っております。

仲島 希



祝ご卒業

- 馬松 登紀子様
- 下辺 洋子様
- 石川 勝博様
- 鐘ヶ江 寿子様

おめでとございます

2019 年度行事

- 2月8日(金) 第一回全体会議と新年会
- 3月30日(日) 春日の茶会
- 8月25日(日) 夏の会員交流事業 絵付け体験
- 10月6日(日) 秋の会員交流事業 旧三井家下鴨別邸を訪ねて
- 11月4日(月) 七五三茶会
- 12月15日(日) 総会

夏の会員交流事業 「絵付け体験」

八月二十五日(日)
於：総合生涯学習センター

令和元年八月二十五日(日)、残暑厳しい折、琴浦窯の和田桐山先生、泰明先生よりお茶碗の絵付け体験をご指導頂きました。希望のデザイン画をお伝えし、ご準備頂いた線画の入ったお茶碗へ着色する流れです。特殊な塗料と筆の扱いにはとても苦戦しました。中々色がのらず水分が垂れてしまったこと、重ねすぎて線が消えてしまったこと……先生方には一人一人付き添って丁寧なご指導、手直して頂いたおかげで、とても楽しみになるお茶碗に仕上がりました。講師先生方、親支部の先生方と、お食事から一緒にいただいていた会員同士共に親睦が深まる素敵な時間を共有できました。このような機会をいただきましたこと、

改めて感謝申し上げます。
今西 恵理



秋の会員交流事業 「旧三井家下鴨別邸訪問」

十月六日(日)
於：旧三井下鴨別邸

重要文化財である旧三井家下鴨別邸にて、支部の先生方もお招きし、会員交流事業をさせていただきました。





題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪北支部
大阪北青年部

大阪府大東市扇町14-38-405
横川 正義 方

ご挨拶
部長 伊藤 豊



本年度、部長を務めております伊藤豊でございます。平素は、北青年部の活動に際し、格別のご厚情を賜り深く御礼申し上げます。「感謝」というテーマの下、10人の新入会員を迎え、72人の会員の皆様と共に活動させていただきました。来年度も、お互いを思いやり、皆が楽しめる組織運営を心がけ、次代を担う事の出来る青年部づくりを目指して参る所存です。皆様方にはこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い致します。

<p>令和元年度 行事</p> <p>三月二十四日 【子ども茶道教室】 (天理教大阪教務支庁)</p> <p>四月二十一日 【奉仕茶会】 (阪奈苑)</p> <p>六月三十日 【会員手作り研修会】 (茶碗作り体験)</p> <p>七月十五日 【中間報告会】 (ドーンセンター)</p> <p>九月二十九日 【秋の茶会】 (生國魂神社 玉秀庵)</p> <p>十二月十三日 【定時総会】</p>

【令和2年度テーマ】

絆を結ぶ

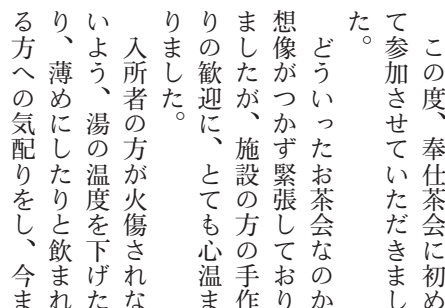
子ども茶道教室



今回、私は初めて青年部の活動に参加させていただきました。最初は子供達とお皿の絵付をしながら、子供達の想像力に驚きつつも、絵付けを楽しみました。その後、休憩を挟みながら茶道マナー教室を行いました。足のさばき方から礼の仕方、お菓子の頂き方など基本のマナーを子供達と一緒に学びました。子供の覚えが早い所に本当に驚きました。

他にも、一緒に折り紙を折ったり、お昼ご飯を一緒にいただきました。年々茶道をする人が減少していると聞きます。今回の子ども茶道教室で、少しでも茶道に興味を持ってくれたらと思います。
(牧野)

奉仕茶会



この度、奉仕茶会に初めて参加させていただきました。どういったお茶会なのか想像がつかず緊張しておりましたが、施設の方の手作りの歓迎に、とても心温まりました。入所者の方が火傷されないうよう、湯の温度を下げたり、薄めにしたりと飲まれる方への気配りをし、今までのお茶会のお手伝いとはちょっと違ったものでしたが、相手を思いやる心の大切さをしみじみ感じ、貴重な体験ができました。
(藪田)

今回の茶碗作りが初めて青年部として参加する活動になりました。お茶碗を作った経験がなかったので、少し緊張していました。しかし、茶碗作りが始まる前にお菓子とお茶を頂いて、気持ちを落ち着かせることができました。また、茶碗作りを教えてくださいくださった先生が吉村楽入さんでとても驚きました。このような貴重な体験ができて嬉しかったです。そして、茶碗作りはとても難しいものだと感じました。少し削ったり模様を入れるだけで、全く異なる顔のお茶碗になるのだなど大変興味深かったです。あとからもう少し削ったりすれば良かったかなと思いましたが、初めて自分で作ったお茶碗なのできつと愛着が湧くと思います。このお茶碗が秋のお茶会で使われるということで、今からとても楽しみです。
(國貞)

茶碗作り体験



秋の茶会



～ご卒業～

高井 久弥さん
日高 泰恵さん

今まで色々とお世話になりました
ありがとうございました



青泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部
堺青年部

泉南郡熊取町つばさが丘西2-17-7
事務局 眞鍋 春香 方

堺青年部

令和元年 テーマ

「絆」

～同じ時を生きる私たち～



部長挨拶
小川麻紀子

平素より青年部の活動にご理解賜り、誠にありがとうございます。本年度は、「絆」と同じ時を生きる私たちというテーマを掲げ、一年間活動させていただきました。会員の皆様におかれましては、住んでいる場

所が異なり、お仕事・ご家庭等、様々な事情・背景・制約がある中で、時間を調整しながら、協力し合い、青年部活動に取り組んでいただいていることに非常に感謝しております。また、今年度の各行事を通じて、会員同士の絆を深めていたのではないかと存じます。今後も皆様のそれぞれの事情を尊重しつつも、青年部は、楽しみながら学べる場であると思っております。皆様方より、これからの変わらぬ、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

イルミネーションがキラキラと彩る頃、堺青年部の納会・卒業生茶会が行われました。点心席はクリスマスと卒業生への感謝をテーマに手作り点心を作り、

年度 年度末行事
十二月十六日(日)
納会・卒業生茶会

於・南游菴 小森商店



卒業生のお好きなマトリョーシカでお床を飾り付けました。この年の卒業生はお一人でしたが、色とりどりのお道具と素敵な笑顔で楽しいひと時となりました。

一月二十六日(土)
初総会・歓迎茶会

於・南游菴 小森商店

今期のテーマについて話し合った後、前年度の行事、今年度の行事予定や予算等が報告されました。美味しい点心をいただきながらの会員の皆さんとの時間はとても楽しかったです。その後、新入会員の歓迎茶会を行い、皆さんとの親睦を深めることが出来ました。

三月二十三日(土)
第二委員会行事
お能鑑賞ツアー

於・大槻能楽堂

新入会員三名が委員会行事に初参加となりました。マイクやスピーカーを通さずに響き渡る音色や台詞が今まで感じたことのない雰囲気です。

講演後にはバックヤードツアーをしていただき、表からは分からないことも貴重なお話を伺うことが出来ました。自身だけではなかなかできない経験が出来、とても楽しかったです。

七月二十一日(日)
第一委員会行事
絵付け体験

於・琴浦窯

琴浦窯にて第一委員会行事の絵付け体験をさせていただきました。事前に和田桐山先生が茶碗に、四季草花、流水、七宝ランダム、七宝一周、青楓の五種類の柄を書いてくださっており、そこに十一種類の絵の具から色を入れていきました。皆様の色のセンスがとても良くて同じデザインでも全然違った顔になっていました。それぞれの茶碗が本当に美しく、このお茶碗を使って早くお茶会を開きたいなと思えました。



十月十九日(土)
堺まつり 利休のふるさと 堺大茶会

於・南宗寺 境内

堺の町全体がとっても活気に満ち溢れ、賑やかになる堺祭り。今年は海会寺で青年部席を持たせていただきました。仁徳天皇陵古墳などの百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されたので「祝・古墳世界遺産」として古墳を待合やお菓子お茶碗などに取り入れました。お客様からもとても可愛いとすく好評で、大変楽しんでいただけたようでした。

十一月十日(日)
絆茶会

於・南游菴 小森商店

テーマを「絆」とし、日頃からお世話になっている親先生をご招待させていただきました。茶会を開かせていただきました。終始とても和やかで楽しい茶会となり、親先生との絆を深められたのではないかと感じました。

卒業おめでとう
いっしょに
がんばります

- 石橋 美生さん
- 谷 克子さん
- 藤井久美子さん
- 村瀬 幸子さん
- 山口 純子さん

これまで青年部の活動にご尽力いただき、ありがとうございました。

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

本店
〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel. 072(238)6188 Fax. 072(222)2728
E-mail: chabowz0313@gmail.com

茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

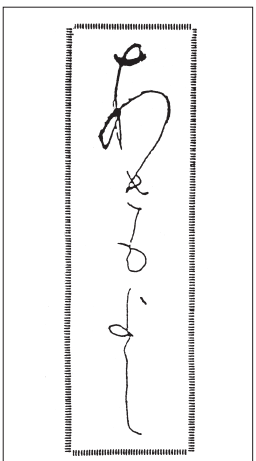
直販部: 〒590-0946 堺市堺区熊野町東3丁2-26
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752
E-mail: komori1@muc.biglobe.ne.jp

平素より和歌山青年部の活動に際し、格別のご厚情を賜り感謝申し上げます。部長職を拝命しております中谷 久生でございます。「バランス」をテーマにスタートした年でありました。青年部らしい青年部にしか出来ない活動は何かをメン



ご挨拶
部長 中谷 久生

テーマ バランス



発行所
淡交会 和歌山支部
和歌山青年部
和歌山市狐島 379
中谷 久生 方

バー全員で考え、実行してきました。「すごく良かったよ」とお褒めの言葉をいただくこともあれば、「もう少し考えたほうがいいね」と励ましの言葉をいただくこともありました。また、その活動が街や市民の方々にどのように映り、どのように感じていただけたか分かりません。二年目となる本年度は、実行したことを検証できる年にしたいと考えております。諸先生方、諸先輩の皆様には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員増強事業
和菓子作りとお茶会体験
五月二六日(日)
於 松風ビル

《和菓子作り体験》
和歌山の和菓子店 紫香庵さんにご協力いただき、和菓子づくりを行いました。初夏に合わせた枇杷の実とお花の2種類からお選び頂きました。ご自身で色付けをして形を整える中で、職

人さんの細やかな手法を教わりました。ご友人やお子さまと一緒に参加された方が多く、茶道を身近なたのしみとして捉えて頂けたように思えます。当企画をきっかけに、青年部に入会されたり茶道を始められた方もおられ、うれしい反響となりました。



先生も説明に熱が入ります

まずはお客様の作法(朝一番に青年部の会員で作成した)ビデオを見ていただきました。銅鑼が鳴り、いよいよお茶室に。私は水屋担当で、お客様の顔は見えませんが、終始和やかな雰囲気です。お客を終え体験したい方はどうぞ、とお誘いすると、ほとんどの方がご自身でお茶を点ててみたいと希望されました。当日は、臨時会員を含め大勢の方にご参加いただき、また会員同士の絆も深まりました。

令和元年度
そのほかの行事報告

一月二十日(日)
初茶会 於 温山荘

二月十七日(日)
観梅茶会 於 田辺石神梅林

十一月三日(日)
紀州漆器祭り呈茶
於 黒江漆器まつり

十二月八日(日)
総会 於 松風ビル

赤土友佳子

みんなドキドキしながらも楽しそうです

子どもたちは運ばれてくるものに興味津々

青年部として初の出店です。お抹茶の販売を目的とするのではなく、お茶の作法を体験し、お茶の世界を日常に感じてもらうことがテーマとした出店でした。

普段、お茶に親しみはないのですが、何十年振りに、おばあちゃんが正月に抹茶をたててくれたのを思い出して立ち寄りましたという方。ふりだしの使い方に作法があるんですねとおっしゃられる方。お茶の世界って、もっと、敷居の高いものだと思ってましたとおっしゃられる方。

ポポロハス
マーケット呈茶
七月十四日(日)
於 ぶらくり丁
ポポロハスマーケット

単にお抹茶を頂くだけでなく、頂く作法を知ること、印象が変わったとお言葉を頂けたことは、お茶の世界に触れる機会が、少しでも増やせたかなと思えるイベントになりました。

和歌山青年部のフェイスブックを開設いたしました。お茶会のご案内や、青年部行事の紹介を載せています。ぜひご覧ください。

祝ご卒業
野田 裕岐さん
福田真記子さん
松山 由香さん

長きにわたり、青年部活動にご尽力くださいましてありがとうございます



南紀

発行所
淡交会 南紀支部
南紀青年部
東牟婁郡古座川町直見 348-1
谷口 尚子 方

部長挨拶



南紀青年部部长
谷口 尚子

平素より私達南紀青年部の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。令和元年五月には、前年から台風のため延期になっておりました南紀支部・南紀青年部五十年記念大会を無事に開催することができました。皆様には、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

発足五十年を迎えて

南紀支部・南紀青年部五十年記念大会にお越しいただきました皆様、励ましのお言葉をくださった皆様、感謝申し上げます。五十周年を迎えることができ、過去五十年にわたり、活動されてきた先輩方の実績があったこそ。本来であれば、来賓としてお迎えすべきでしたが、現青年部会員が少ないため、多くの先輩方のご協力を得て、青年部は薄茶席を担当させていただきました。先輩方、ありがとうございます。当時の青年部のお話を伺う機会でもあり、青年部活動をご一緒させていただいた頃を懐かしく振り返る時間でもあり、楽しいひと時でした。

私の五十年事業



尾谷 京子
台風による延期もあり、一年半近くの準備期間があった五十年記念大会。部員同士知恵を出し合い盛り上がったたり、現実問題にぶつかり悩んだり、時間がないと焦ったり、形が見えてきたと安心したりと密度の濃い時間を共に過ごし迎えた当日でした。青年部だけでは到底できない貴重な経験は、支部の親先生方や青年部先輩方たちのご協力がありできたものだと本当に感謝しております。ありがとうございます。



大江 一恵様
(部長期間 平成九年) 十一年
台風の影響で延期を余儀なくされ、お席の詠えを變更するご苦労等本当に大変だったと思います。当日は少しでもお役に立てればと思いましたが、逆に青年部の皆様の心配りやお働きに感動させられました。またその立礼席は、眼下に広がる太平洋のような爽やかさと力強さが感じられ、最高のおもてなしでした。これからもお稽古や各地との交流に励まれ、益々ご発展されることを祈念致します。

先輩からのメッセージ



鮎田 起昇様
(部長期間 昭和六十二年) 平成二年
ご多忙のところご臨席いただいた皆様、誠にありがとうございます。大会当日は、五月にしては非常に暑い一日でしたが、青年部の皆様が、主体性を持って、

それぞれを持ち場で心を込めて努力する姿を拝見しました。宮本初代部長をはじめ諸先輩から今日まで、五十年の歴史にしみじみと思いを巡らせた一日でした。

八代 かおり様
(部長期間 平成二十一年) 二十二年
お揃いの蝶透かしの帛紗が揺れる胸元。台風のため開催が危ぶまれる等、いくつもの困難を乗り越え一丸となって働く青年部席です。この度は創立五十年記念大会・青年部薄茶席に参加させて頂き、心より感謝申し上げます。「初心を忘れず精進します。」と心底懐ける様な良いお席でした。有難うございました。

次への五十年に向けて
先輩方、メッセージありがとうございます。青年部が昭和に発足し、平成を経て五十年。そして令和という新しい時代を迎えた五月に開催された記念大会。振り返ると、多くのことから人から人に託され続てきたこと、助け合うことで生まれる力の大きさを実感した日々でした。この事業に携われたことは貴重な経験であり、光栄なことです。南紀青年部の歴史と先輩方の気持ちを受け継ぎ、誇りを持って、楽しみながら次の時代へつないでいきたいと思っております。今後とも、南紀青年部をよろしくお願ひ申し上げます。

山口 優子様
(部長期間 平成二十五年) 三十年
令和元年、南紀支部・青年部五十年記念行事を開催する事ができ、私も微力ながらお手伝いさせて頂きました。大変な準備期間を経て、ようやくの開催。あの場所で大変なご声援の励ましの声と笑顔があふれていました。本音を申し上げます、青年部活動は大変な事の方

席のご準備をされた事と思います。無事終えられた時の感激、感動は一人、心に残りそして力となった事と存じます。これからも茶道を通して地域の皆様との交流を深め楽しい青年部活動を続けて頂きたいと願っております。

合掌
次への五十年に向けて
先輩方、メッセージありがとうございます。青年部が昭和に発足し、平成を経て五十年。そして令和という新しい時代を迎えた五月に開催された記念大会。振り返ると、多くのことから人から人に託され続てきたこと、助け合うことで生まれる力の大きさを実感した日々でした。この事業に携われたことは貴重な経験であり、光栄なことです。南紀青年部の歴史と先輩方の気持ちを受け継ぎ、誇りを持って、楽しみながら次の時代へつないでいきたいと思っております。今後とも、南紀青年部をよろしくお願ひ申し上げます。

新入会員
有本 知子さん
垣内 美貴さん
鈴木 織恵さん
竹内 みつきさん
土山 真未さん
登立 涼子さん

choshu
ちゅうしゅう



http://yugafu-llc.com



(大阪東青年部)

業務用乳製品卸・創作アイスクリーム

KIC北畑商事株式会社

代表取締役社長 北畑 博之

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町4-7-9

TEL 06-6621-5454 FAX 06-6621-2677

(大阪東青年部)

一点一点にこころを込めて。

Thank you for Cleaning



<http://www.franceya.co.jp/>

(大阪東青年部)

私たちは「和と誠実」の精神で社会に貢献します



中谷機工株式会社

代表取締役社長 中谷 憲正

〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町6-8-18

TEL 06-6421-3010 fax:06-4961-5606

(大阪西青年部)

<http://www.nakatani-grp.com/kiko/>

お客様の「困った!」を
システムからホームページまで
IT分野を通じて解決・支援します。



<https://www.yodoq.com/>

(大阪西青年部)



どら焼き
フルーツ大福
金&銀のプリン
チーズタルト

和 - 水都饅菓 (わ - すいとせんか)

吹田市穂波町13-12

06-6384-3981

(大阪南青年部)



一般貨物運送事業・貨物利用運送事業
丸正運送株式会社

〒552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町3丁目3番13号
TEL 06-6584-1207

(大阪南青年部)

海苔は、日本の伝統美です。



本 社 大阪市中央区日本橋2-13-13

<http://www.kawako.co.jp>

(大阪北青年部)



出版・企画・編集

どりむ社

代表取締役社長 税所貴一

住所：大阪市北区天神西町 8-17 テンマセントラルビル

電話：06-6313-8001 (代表) FAX：06-6313-8005

URL：<http://www.dorimu-web.com>

(大阪北青年部)

堺田島町



電話堺(241)4593番

(堺青年部)

夢と感動を

立志館ゼミナール

立志館ゼミナールは 南大阪を中心に展開する小学生から高校生までを対象とした総合学習塾です。

「わかるまで教える」という教育方針のもと子供たちの夢と一緒に追いかけ 生徒一人ひとりの可能性をひろげています。



(堺青年部)

小中学部 小2~中3対象
泉北校 TEL:072-292-6363

中学入試部 小2~小6対象
梅本本校 TEL:072-292-0505

高校部 高1~高3対象
三国丘本校 TEL:072-240-8855

個別指導部 小4~高3対象
泉ヶ丘駅前校 TEL:072-296-0100

THINK FUTURE 英語学院 小4~高3対象
三国丘校 TEL:072-240-7676

株式会社 スズキモーター和歌山



アリーナ狐島 〒640-8412 和歌山市狐島 379

アリーナ岩出バイパス 〒649-6221 岩出市溝川 272-1

広川店 〒643-0066 有田郡広川町名島 100

アリーナ東山 〒646-0022 田辺市東山 2丁目 31-20



XBEE

<https://www.suzuki.co.jp/dealer/suzukimw/>

(和歌山青年部)

Sō Jin Boku

www.ichigoichie-2018.com



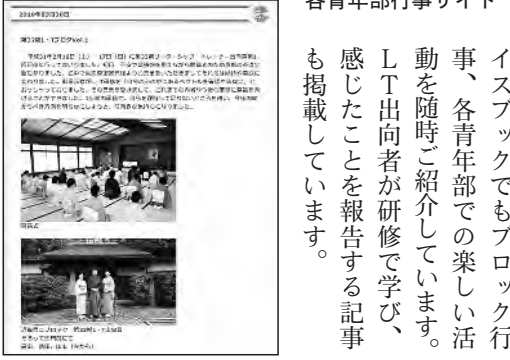
(和歌山青年部)

2019-2020 年度近畿第二ブロック役員名簿			
役職名	氏名	支部	
顧問	秋松 圭一	大阪南	
	山野 隆一	大阪東	
	池田 周弘	大阪北	
	阪廣 勝義	大阪東	
	榎本 田孝	大阪南	
	榎本 直尚	和歌山	
	飯井 克典	大阪西	
	塩井 山将	大阪北	
	塩井 山将	大阪北	
	塩井 山将	大阪北	
相談役	西川 宗進	大阪東	
	嶋村 裕史	大阪西	
	小嶋 林美	大阪東	
	小嶋 林美	大阪西	
	小嶋 林美	大阪南	
	小嶋 林美	大阪北	
	小嶋 林美	和歌山	
	小嶋 林美	南紀	
	小嶋 林美	南紀	
	小嶋 林美	南紀	
ブロック長	中谷 正	大阪西	
副ブロック長	中谷 育	大阪東	
	中谷 修	大阪西	
	中谷 貴	大阪南	
	中谷 貴	大阪北	
	中谷 貴	和歌山	
ブロック幹事長	高洲 泉	南紀	
ブロック副幹事長	高洲 礼子	大阪西	
ブロック委員	小中 川	麻紀	和歌山
	小中 川	久生	南紀
研修委員長	中岡 嘉	大阪西	
広報委員長	岡本 早	大阪東	
交流委員長	岡本 昇	大阪南	
ブロック会計	西山 宏	大阪北	
ブロック監事	西山 祥	和歌山	
	山東 晃	大阪北	
	山東 晃	大阪東	
研 修 委 員 会			
	羽岡 幸	子謙	大阪東
	西岡 由	佳子	大阪西
	高岡 祥	子理	大阪南
	今西 恵	太貴	大阪北
	馬西 賢	樹美	大阪北
	亀吉 川	美子	和歌山
	尾谷 京	子	南紀
広 報 委 員 会			
	内田 直	美男子	大阪東
	柳谷 幸	陽子	大阪西
	横本 光	教嗣	大阪南
	杉本 英	悟司	大阪北
	宮谷 口	作子	大阪北
	谷出 憲	智美	和歌山
	正濱 司	田美	南紀
	濱井 潮	ゆか	南紀
交 流 委 員 会			
	木井 雅	奈也	大阪東
	藤井 加	奈也	大阪東
	菊池 哲	奈也	大阪西
	糸野 彩	奈也	大阪西
	林本 彩	奈也	大阪南
	岸本 彩	奈也	大阪北
	濱谷 本	奈也	大阪北
	大宮 司	敏子	大阪北
	佐々木 敏	子	和歌山
	上景	子	南紀

近畿第二ブロックの楽しい♪♪♪ 行事活動が
Homepage と Facebook でご覧いただけます。
7 青年部の活動や LT 出向者の報告も随時更新中！



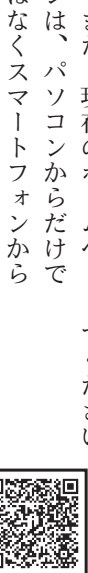
Homepage QRコード



LT 出向報告サイト



中谷ブロック長と高木幹事長の息が合った「〇(和)」〜♪



Facebook QRコード

同 風

機関紙命名 鵬雲斎大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人 ブロック長
中谷 正 憲



|| 利休居士道歌 ||

その道に
入らんとする心こそ
我身ながらの師匠なりけれ

近畿第二ブロック URL

- Homepage www.tkk-kinki2.org
- Facebook www.facebook.com/pg/kinki2seinen

是非ご覧ください！

令和2年 2020年 茶道手帳 毎年好評

お稽古の実際に役立つ情報をさらに充実。
判型 170×90mm 192頁 デザインを一新！
定価：本体800円+税 透明ビニールカバー付
送料(1冊)=250円 2冊以上で送料サービス

淡交社 〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル
TEL075(432)5151 FAX075(432)5152

坐忘齋御家元御好
極上御濃茶
松花の昔
極上御濃茶
清浄の白
鵬雲斎大宗匠御好
極上御濃茶
慶知の昔
松雲の昔
喜雲
瑞泉の白
極上御濃茶
珠の白
松柏

今治 小山園

全国並びに関西茶品評会第一位
自園茶 農林水産大臣賞30回受賞
京都府宇治市小倉町等内86
お問合せ 077-020099
西園酒店 中京区西洞院通御池下ル
電話 075-2330099
伊勢店 津市元庵 水休 祝堂業
ジャズバー 京都伊勢丹前
高島店 京都高島屋前 和菓子売場

www.marukyu-koyamaen.co.jp